

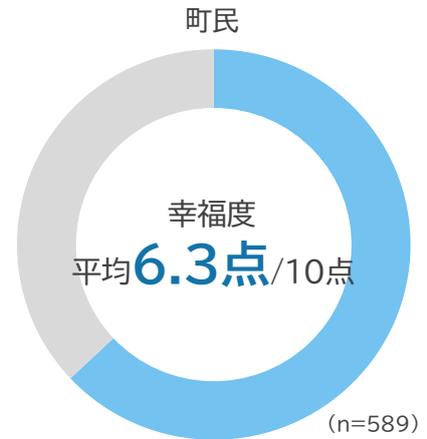
### 3 町民の意向・ニーズ

町民や高校生へのアンケート、各地区や地域団体によるワークショップを通して、町民の意向・ニーズを把握しました。

#### 幸福度（町民）

町民の幸福度は平均 6.3 点となっており、幸福度が高い方が過半数を占めています。

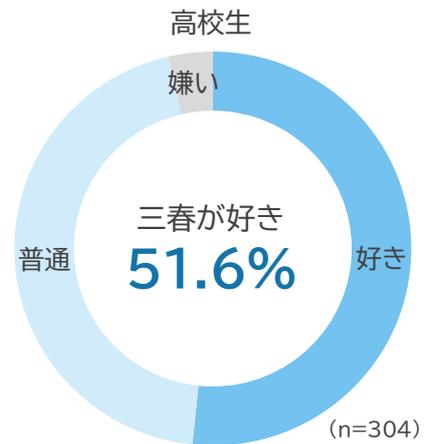
※幸福度は 10 点をとても幸せ、0 点をとても不幸、0～10 点の 11 段階で伺い、平均点を算出。



#### 郷土愛（高校生）

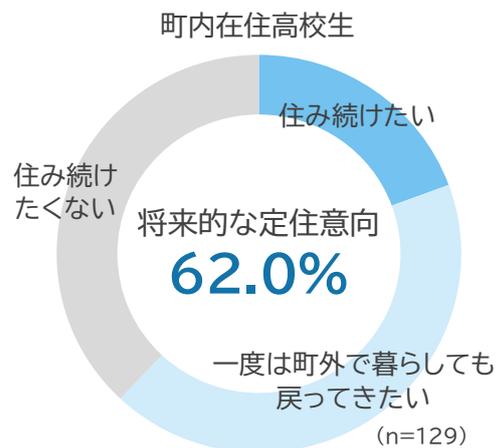
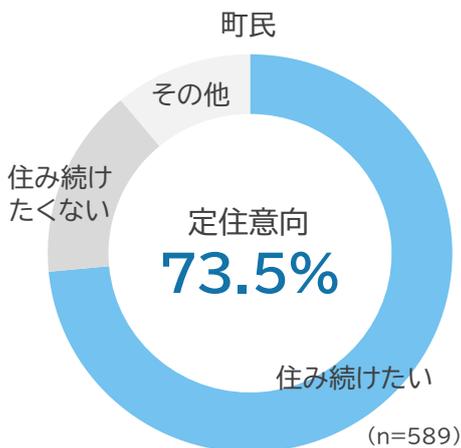
町内の田村高等学校に通う町外在住の高校生を含め、町内で暮らす高校生の約半数が“三春が好き”と感じています。

※「好き」は「とても好き」「どちらかといえば好き」の割合の合計。  
「嫌い」は「とても嫌い」「どちらかといえば嫌い」の割合の合計。



#### 定住意向（町民・高校生）

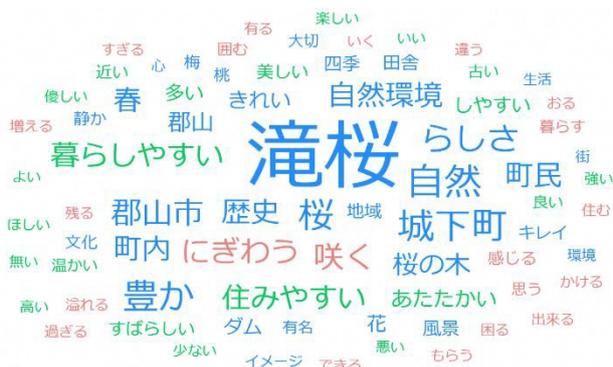
町民の約 7 割、町内在住高校生の約 2 割が住み続けたいと感じています。町内在住高校生においては、一度は町外に出ても戻ってきたい方も合わせると約 6 割が将来的に本町に住みたいと感じています。



## 三春町らしさ（町民）

テキストマイニング<sup>3</sup>結果をみると、本町は三春滝桜をはじめとする自然が豊かで、歴史のある住みやすい町と読み取れます。

※文字の大きさは、与えられた文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表す。



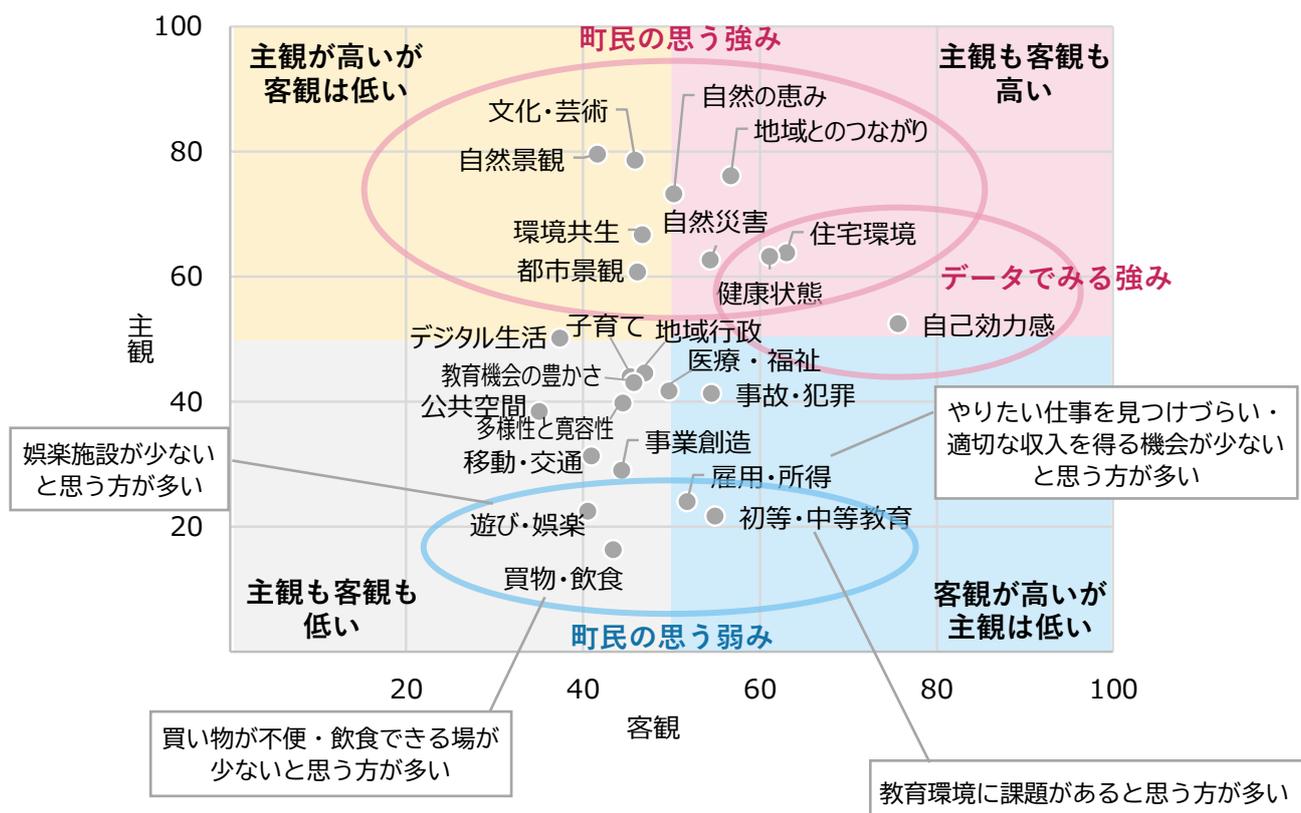
### テキストマイニング結果

ツール提供：(株)ユーザーローカル

## 本町の強み・弱み（町民）

主観指標<sup>4</sup>で偏差値の高い「自然景観」「文化・芸術」「地域とのつながり」などの項目は、客観指標<sup>5</sup>と比較しても、傾向としては概ね一致している結果となっています。

また、客観指標においては、著しく低い内容ではない項目「買物・飲食」「初等・中等教育」「遊び・娯楽」「雇用・所得」等について、主観指標が低い結果になっています。



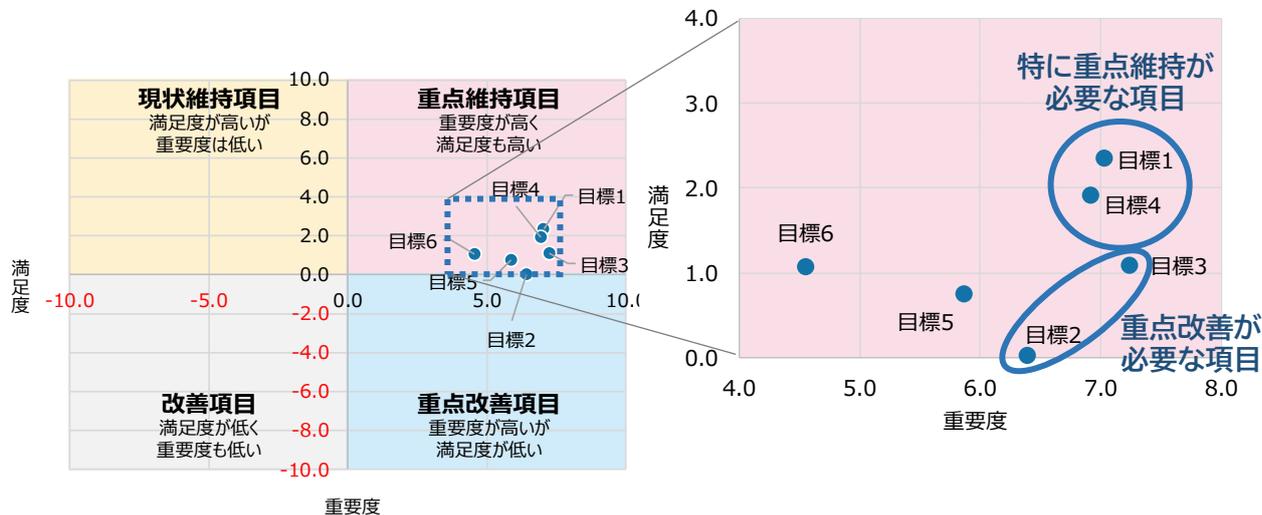
3 テキストマイニング：大量の文章データから、有益な情報を取り出すことの総称。

4 主観指標：アンケートにより把握した町民が感じている充実度や幸福度、満足度を偏差値化した数値。本町では、デジタル庁が示す50項目の設問により、地域の満足度や幸福度、生活環境・人間関係・自分らしい生き方への感じ方を伺った。

5 客観指標：デジタル庁が公表データをもとに指標化した数値。暮らしやすさを測定したもの。

## 満足度・重要度（町民）

第7次計画の基本目標ごとに満足度・重要度を伺うと、いずれも満足度・重要度も高く重点維持項目となっています。特に重点維持が必要な項目は目標1と4で、今後満足度を高めるためには重点改善が必要な項目は、目標2や3となっています。



目標1 誰もが安全安心に暮らせるまちづくり	目標4 誰もが健やかに暮らせるまちづくり
目標2 住みよい美しい環境で暮らせるまちづくり	目標5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり
目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり	目標6 協働と町民参画による自立したまちづくり

※「満足」「重要」10点、「やや満足」「やや重要」5点、「やや不満」「あまり重要でない」-5点、「不満」「重要でない」-10点として平均点を算出。

## 町長だったら、こんな町にしたい（高校生）

テキストマイニング結果をみると、

- ・日常的な買い物ができる場所や娯楽施設を増やしたり、自然環境等を活かしたイベントを開催し、賑わいや活気を創出したい
  - ・町内や近隣市への交通環境を整え、移動をしやすくしたい
  - ・若者や高齢者が過ごしやすい場所、集まりやすい場所、遊べる場所などをつくりたい
  - ・みんなが意見を言いやすいまちにしたい
- といった声が多いことが読み取れます。



テキストマイニング結果

ツール提供：(株)ユーザーローカル